愛知学院大学
第２４９回　モーニング・セミナー

本や人の話から知識を得て、それに創造し夢を抱いたころが懐かしい。人の話を聞くことは人生を何倍にも大きく育ててくれる絶好のチャンスです。「偶然に聞いた話が人生を変える・・・」。まさにセレンディピティです。講演会を通じて聴衆者のお一人でも、このような経験をしてもらえるならなんとすばらしいことでしょう。

今年は、1941 年の真珠湾攻撃から 85 年にあたります。日本は 1945 年、ポツダム宣言を受諾し戦争を終えました。一般的に、日本の降伏は無条件降伏とされていますが、その意味をめぐっては様々な議論があります。今回のセミナーでは、無条件降伏とはいかなるものなのか、そしてそれが、戦後の出発点としての占領統治にどのような影響を与えたのか、占領史研究者の賀茂道子先生にわかりやすく解説していただきます。

老若男女を問いませんので皆様の参加をお待ちしております。

主　催　　モーニングセミナー運営委員会

演　題　**「無条件降伏」とは何だったのか？**
～交渉なき降伏と、駆け引きの占領～

講　師　　占領史研究者　**賀茂　道子**　先生

開催日　　令和８年１２月８日（火曜日）
午前　７時００分～８時００分　開場　６時３０分

定　員　　１５０名先着順　（マスクの着用をおねがいします）

場　所　　愛知学院大学楠元学舎１１０周年記念講堂

〒464-8650 名古屋市千種区楠元町
1-100　　電話　052-751-2561
（覚王山にある歯科病院ではありません。
本山（楠元町）にある法人本部です。
お間違えないように！！）



会　費　無料
（どなたでも参加できます）

交　通　地下鉄東山線本山駅
下車１番出口徒歩７分

駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。

講師紹介・賀茂道子（かもみちこ）

占領史研究者。博士（法学）。名古屋大学大学院環境学研究科博士後期課程修了。名古屋大学同研究科特任講師・特任准教授を経て、現在は名古屋大学・名城大学で非常勤講師を務めるほか、著書の執筆、雑誌への寄稿、講演などを行っている。著書に『静かなる占領』（慶應義塾大学出版会、2025 年）など。

公式サイト